

科目ナンバリング	科目名	教員名
	博物館展示論	後藤 知美

開講詳細			
開講キャンパス	開講時期	曜日時限	単位数
たまプラーザ	2025年度集中、2026年度集中	集中講義	2単位

講義授業	
授業の実施形態	対面型授業
授業のテーマ	資料調査による発見を、より適切に・効果的に共有し、対話の場となる博物館づくりとは？
授業の内容	博物館法第二条は、同法内における「博物館」を「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関」としている。展示は、博物館にとって、利用者に日頃の活動の成果を伝える最大の機会である。そして、展示への利用者からの反応は、博物館の活動をさらに磨き上げ充実させるきっかけとなる。 近年、博物館を取り巻く状況は大きく変化し、保存・収集、調査研究、教育・普及といった本来の機能に加え、地域振興や観光、社会的包摂、福祉といった地域課題への対応まで期待される等、その社会的役割は、複雑化・多様化している。本授業では、こうした社会情勢を踏まえつつ博物館展示について、理論的な枠組みから実践的な内容まで実際の展示を事例に取り上げつつ解説する。そして、展示を通して、自らの発見や伝えたいことを利用者により効果的に届伝えるために何ができるのかを、受講生が主体的に考えるきっかけとする。
到達目標	博物館・資料館における展示の役割を理解し、これまで一來館者として観覧していは博物館・資料館での展示を、企画者の立場にたって理解し、自分なりの改善案や工夫案を思ふことができる視点を持つ。

授業計画	
第1回	博物館における展示の役割（1）博物館展示とは何か（対面型） 「モノを飾って見せる」という行為は、博物館における展示に限った話ではなく、社会の様々なところで行われているものである。では、博物館における展示とはいったい何だろうか？その特徴と目的を、教員がこれまでに手掛けた展示を事例として解説する。 【事前学習 120分】 ⇒身の回りにある「展示」を見つけ写真に撮っておく 【事後学習 30分】 ⇒講義内容を振り返り整理しておく
第2回	博物館における展示の役割（2）展示の歴史と求められる役割（対面型） 日本や世界における「展示」の歴史を概観した上で、近年、博物館に求められる役割が近年、変化を迎え、より複雑化・多様化していることを解説するとともに、変化のなかで生まれた新たな可能性についても指摘する。 【事前学習 60分】 ⇒身近な博物館情報を収集する 【事後学習 30分】 ⇒講義内容を振り返り、展示を見る上でのポイントを考える
第3回	展示事例からみる展示手法（1）実際の展示から学ぶ（対面型） 日本国内における博物館での常設展示・企画展示（特別展示）を事例に、博物館展示で利用されている様々な展示手法について紹介する。物理的・企画的・予算的等、様々な制約を乗り越えつつ、より分かりやすく利用者に情報を伝え、利用者の興味・関心を喚起させるための工夫を解説する。 【事前学習 60分】 ⇒身近な博物館情報を収集する 【事後学習 30分】 ⇒講義内容を振り返り、展示を見る上でのポイントを考える
第4回	展示事例からみる展示手法（2）実際の展示から学ぶ（対面型）引き続き、日本国内における博物館での常設展示・企画展示（特別展示）を事例に、博物館展示で利用されている様々な展示手法について紹介する。また、博物館以外の展示施設における展示の様子についても触れる。 【事前学習 60分】 ⇒身近な博物館情報を収集する 【事後学習 30分】 ⇒講義内容を振り返り、展示を見る上でのポイントを考える
第5回	博物館展示を設計する（1）展示の企画立案（対面型）展示を企画するにあたっての一連の流れを概観する。博物館展示の設計は、企画（計画）段階、実施段階、修了段階の3段階に大別される。講義では、各段階における必要作業や注意事項について概説する。 【事前学習 60分】 ⇒博物館の展示図録を読んでおく

	<p>【事後学習 30分】 ⇒授業の内容を復習し、図書館で関連書籍を読んでまとめておく</p>
第6回	<p>博物館展示を設計する（2）展示のデザイン（対面型）展示を実施するにあたって注意を必要とする様々な構成要素について取り上げる。具体的には、資料の劣化を防ぐための展示環境の整備・管理や、企画や展示資料に適した視角的効果をもたらす演出方法、宣伝・広報等について基本事項を解説する。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒博物館の展示図録を読んでおく</p> <p>【事後学習 30分】 ⇒授業の内容を復習し、図書館で関連書籍を読んでまとめておく</p>
第7回	<p>博物館展示を設計する（3）利用者への働きかけ（対面型）博物館展示では、利用者の展示への理解を促進するため、様々な手段を用いることが一般的である。担当学芸員による展示解説やワークショップ、ワークシートや関連企画等、展示以外の手段の効果的な併用方法について解説する。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒博物館で行われている展示に関連する催しや企画にこういったものがあるか調べておく</p> <p>【事後学習 30分】 ⇒授業の内容を復習し、図書館で関連書籍を読んでまとめておく</p>
第8回	<p>実際の展示に学ぼう（1）自主学外学習（課外学習）受講生は、身近な博物館展示を、これまでの講義で取り扱った内容を踏まえて見学する。あわせて、自信が関心がある分野や資料を見つけ、それについて調べておく。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒講義内容を踏まえてプレゼンテーションの準備を行う</p> <p>【事後学習 30分】 ⇒講義内容を踏まえてプレゼンテーションの準備を行う</p>
第9回	<p>実際の博物館展示に学ぼう（2）プレゼンテーション（対面型）受講生は、自主学外学習として見学した博物館展示を参考に、これまでの講義で取り扱った内容を踏まえて5分程度のプレゼンテーションを行う。発表に際しては、展覧会企画者の意図を整理した上で、展示上での工夫、自分が好きなどころ、改善点と感じたところを明快に説明すること。</p> <p>【事前学習 120分】 ⇒講義内容を踏まえてプレゼンテーションの準備を行う</p> <p>【事後学習 120分】 ⇒講義内容を踏まえてプレゼンテーションの準備を行う</p>
第10回	<p>実際の博物館展示に学ぼう（3）プレゼンテーション（対面型）受講生は、自主学外学習として見学した博物館展示を参考に、これまでの講義で取り扱った内容を踏まえて5分程度のプレゼンテーションを行う。発表に際しては、展覧会企画者の意図を整理した上で、展示上での工夫、自分が好きなどころ、改善点と感じたところを明快に説明すること。</p> <p>【事前学習 120分】 ⇒講義内容を踏まえてプレゼンテーションの準備を行う</p> <p>【事後学習 60分】 ⇒他受講生のプレゼンテーション内容の感想をまとめる</p>
第11回	<p>課題発表とグループワーク（対面型）これまでの講義の内容を踏まえ、講義期間中に自分が考えたテーマ、あるいは興味関心がある資料を取り上げ、各自、展示企画を立案する。企画検討は、講義中に設定したグループで協力しながら進める。受講生は自らの企画案をグループ内に共有し、同じグループのメンバーからの指摘や助言を参考に、自らの企画案を完成させる。なお、グループメンバーに対する指摘や助言の内容も評価に反映させるため、積極的にグループワークに取り組むこと。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒自分がやってみたい展示や紹介したい資料を探し関連する資料を収集しておく</p> <p>【事後学習 30分】 ⇒講義中の議論を踏まえ、プレゼンテーションの準備を行う</p>
第12回	<p>博物館展示の活用とその効果（1）博物館と学び（対面型） 博物館展示は、資料と人（利用者、博物館職員）の相互作用によってその機能を発揮する。そのため、展示による学習は、学校教育やその他社会教育施設とはまた異なる効果を持つものである。博物館における学習の特性と、学校やその他社会教育施設との連携の可能性について解説する。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒博物館と学校教育やその他施設が連携している例を調べておく</p> <p>【事後学習 30分】 ⇒授業の内容を復習し、図書館で関連書籍を読んでまとめておく</p>
第13回	<p>博物館展示の活用とその効果（2）開かれる博物館（対面型） 博物館には、すべての人に開かれた（学びの）場であるために、絶えず新しい取り組みや試みを取り入れられている。それらの代表的な取り組みに関する紹介をとおして、これからの博物館に必要なことを考えてもらう。</p> <p>【事前学習 60分】 ⇒博物館で行われている意外な取り組みや挑戦についてどういったものがあるか調べておく</p> <p>【事後学習 30分】 ⇒授業の内容を復習し、図書館で関連書籍を読んでまとめておく</p>
第14回	<p>展示企画発表会（1）（対面型）第11回講義でのグループワークをとおして立案した展示企画について10分程度発表を行う。受講生は、他受講生の発表を聞き企画者の趣旨や狙いを把握した上で必要に応じて質問し、企画内容への理解を深める。発</p>

	<p>表者は講義中の質疑応答や指摘内容を踏まえて、自らの企画をさらに練り上げる。</p> <p>【事前学習 120分】 ⇒自分がやってみたい展示や紹介したい資料を探し関連する資料を収集しておく</p> <p>【事後学習 30分】 ⇒他受講生の企画から学んだことを整理しておく</p>
第15回	<p>展示企画発表会（2）（対面型）第11回講義でのグループワークをとおして立案した展示企画について10分程度発表を行う。受講生は、他受講生の発表を聞き企画者の趣旨や狙いを把握した上で必要に応じて質問し、企画内容への理解を深める。発表者は講義中の質疑応答や指摘内容を踏まえて、自らの企画をさらに練り上げる。</p> <p>【事前学習 120分】 ⇒自分がやってみたい展示や紹介したい資料を探し関連する資料を収集しておく</p> <p>【事後学習 120分】 ⇒講義中の議論を踏まえ、プレゼンテーションの準備を行う</p>
授業計画の説明	<p>パワーポイントを用いた講義を基本的な形式にする。講義の後半に1回、10分程度のプレゼンテーション発表を実施し、その内容をまとめたレポートを提出してもらう。</p>
授業時間外の学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義には、前回の講義内容を復習してのぞむこと ・講義中、関心を覚えた事項については図書館で関連書籍を読むこと ・機会を作って積極的に興味関心がある博物館や展覧会を見学すること
受講に関するアドバイス	<p>講義資料は原則として配布しない（また、使用したスライドの撮影も許可しない）。そのため、ポイントとなる用語や講義全体の内容について、講義中に各自メモをきちんと取ること。</p>

成績評価の方法・基準		
評価方法	割合	評価基準
レポート	60%	講義中に課題として課した展示企画をレポートとして提出してもらい、到達目標に達しているかを確認する。なお、同時にグループワーク中に他受講生へ行った指摘や助言内容についても評価の対象とする。
平常点	40%	その他、講義期間中に行ったプレゼンテーション内容や、講義中に提出を求める感想・質問の記載から、講義の理解度、授業姿勢をみる。

教科書・参考文献等
教科書
ここに挙げた書籍に沿って講義を進行するわけではありませんが、具体的なイメージを持つために「これから学芸員をめざす人のために」「文化財を未来につなぐ博物館と学芸員の仕事」「学芸員しか知らない美術館が楽しくなる本」等、学芸員のお仕事について一般向けに書かれた書籍について読んでおくことを推奨します。